

「医師確保計画策定ガイドライン」より

- 産科・小児科については、政策医療の観点からも確保の必要性が高いこと、医師の長時間労働となる傾向があること、診療科と診療行為の対応も明らかにしやすいことから、暫定的に、産科・小児科における医師偏在指標を示し、医師確保計画の一部に位置付け、地域偏在対策に関する検討を行うこととする。
- 周産期医療の提供体制に係る圏域を「周産期医療圏」、小児医療の提供体制に係る圏域を「小児医療圏」と呼称する。
- 厚生労働省が定める「医師確保計画策定ガイドライン」において、都道府県ごと及び周産期医療圏又は小児医療圏ごとの医師の偏在指標の値を全国で比較し、医師偏在指標が下位33.3%に該当する医療圏を「相対的医師少数都道府県」及び「相対的医師少数区域」とする。
- なお、「相対的医師少数都道府県」及び「相対的医師少数区域」については、画一的に医師の確保を図るべき医療圏として考えるのではなく、各医療圏において産科医師又は小児科医師が少ないことを踏まえ、周産期医療又は小児医療の提供体制の整備について特に配慮が必要な医療圏として考える。
- 産科・小児科については、下位33.3%に該当しない医療圏等においても、産科医師又は小児科医師が不足している可能性があることに加え、医療圏を超えた地域間での連携が進められてきた状況に鑑み、「医師多数都道府県」や「医師多数区域」は設けないこととする。
- 三次医療圏、周産期・小児医療圏ごとに設定された性質（「相対的医師少数区域」・「相対的医師少数ではない区域」）を踏まえ、医師確保対策を講じていくことになる。具体的な医師確保の方針や必要な施策については、第3回地域医療対策協議会で議論する。
- なお、「医師確保計画策定ガイドライン」において、都道府県は、周産期医療圏及び小児医療圏に係る課題に適切に対応するため、周産期医療又は小児医療に係る協議会の意見も聴取することとされている。
本県においては、11月開催予定の「山形県周産期医療協議会」において、意見の聴取を行い、その内容を踏まえ、医師確保の方針等について第3回地域医療対策協議会で議論する。

方針(案)

本県の周産期医療圏及び小児医療圏における「相対的医師少数区域」の設定は、厚生労働省が今後公表する(本来7月の公表。)産科・小児科における医師偏在指標に基づき、設定することとしてはどうか。

○ 産 科

三次医療圏	山形県	…	相対的医師少数都道府県ではない県(見込み)
周産期医療圏	村山地域	…	相対的医師少数区域ではない区域(見込み)
	最上地域	…	相対的医師少数区域ではない区域(見込み)
	置賜地域	…	相対的医師少数区域ではない区域(見込み)
	庄内地域	…	相対的医師少数区域ではない区域(見込み)

○ 小 児 科

三次医療圏	山形県	…	相対的医師少数都道府県ではない県(見込み)
小児医療圏	村山地域	…	相対的医師少数区域ではない区域(見込み)
	最上地域	…	相対的医師少数区域ではない区域(見込み)
	置賜地域	…	相対的医師少数区域ではない区域(見込み)
	庄内地域	…	相対的医師少数区域ではない区域(見込み)

※ 確定値が届き次第、地域医療対策協議会委員に情報提供

産科における医師偏在指標（三次医療圏）

資料4-3

暫定値

順位	都道府県	産科医師 偏在指標	順位	都道府県	産科医師 偏在指標	順位	都道府県	産科医師 偏在指標
	全国	12.8	17位	北海道	12.8	32位	滋賀県	11.3
1位	東京都	18.0	18位	岡山県	12.8	33位	千葉県	11.0
2位	奈良県	16.8	19位	静岡県	12.6	34位	佐賀県	10.9
3位	秋田県	16.5	20位	兵庫県	12.5	35位	愛媛県	10.8
4位	大阪府	16.0	21位	宮城県	12.5	36位	岩手県	10.7
5位	徳島県	15.8	22位	広島県	12.2	37位	長野県	10.7
6位	鳥取県	15.8	23位	山形県	12.1	38位	高知県	10.6
7位	京都府	15.1	24位	長崎県	12.1	39位	岐阜県	10.5
8位	福井県	14.5	25位	島根県	11.9	40位	宮崎県	10.4
9位	山梨県	14.0	26位	大分県	11.9	41位	茨城県	10.3
10位	神奈川県	13.8	27位	愛知県	11.9	42位	鹿児島県	10.1
11位	和歌山県	13.7	28位	沖縄県	11.8	43位	青森県	9.4
12位	福岡県	13.5	29位	山口県	11.5	44位	新潟県	9.4
13位	富山県	13.3	30位	群馬県	11.4	45位	埼玉県	8.9
14位	石川県	13.1	31位	香川県	11.4	46位	福島県	8.6
15位	三重県	12.9				47位	熊本県	8.2
16位	栃木県	12.9						

相対的医師少数県

産科における医師偏在指標（周産期医療圏）

資料4-4

暫定値

順位	都道府県	周産期医療圏	産科医師偏在指標	順位	都道府県	周産期医療圏	産科医師偏在指標	順位	都道府県	周産期医療圏	産科医師偏在指標
	全国		12.8	137位	東京都	区東部	11.1	192位	富山県	新川	9.2
1位	北海道	南檜山	-	138位	高知県	幡多	11.0	193位	和歌山県	有田	9.1
2位	北海道	北空知	-	139位	沖縄県	宮古	11.0	194位	熊本県	八代圏域	9.1
3位	福井県	奥越	-	140位	山形県	置賜	11.0	195位	山口県	周南	9.1
7位	東京都	島しょ	93.5	141位	兵庫県	淡路	11.0	196位	長崎県	佐世保県北	9.1
8位	岡山県	高梁・新見	44.9	142位	熊本県	芦北圏域	10.9	197位	千葉県	東葛北部	9.1
9位	長野県	大北	38.2	152位	秋田県	横手	10.6	198位	熊本県	球磨圏域	9.0
98位	秋田県	由利本荘・にかほ	13.2	153位	北海道	釧路	10.6	199位	福島県	県南	9.0
99位	北海道	南渡島	13.2	154位	山形県	庄内	10.5	200位	沖縄県	中部	9.0
100位	山形県	村山	13.1	155位	高知県	中央	10.5	284位	大分県	西部	5.3
101位	大阪府	北河内	13.1	156位	三重県	南勢志摩	10.3	285位	福岡県	朝倉	4.9
102位	京都府	山城北	13.0	186位	愛知県	西三河北部	9.4	286位	福岡県	直方・鞍手	4.8
115位	大阪府	泉州	12.1	187位	山口県	下関、長門	9.4	287位	北海道	後志	4.1
116位	千葉県	印旛	12.0	188位	新潟県	魚沼	9.3	288位	新潟県	県央	3.8
117位	山形県	最上	12.0	189位	兵庫県	播磨姫路	9.3	289位	福岡県	京築	2.2
118位	埼玉県	さいたま	11.9	190位	山口県	岩国、柳井	9.3	290位	北海道	宗谷	2.2
119位	新潟県	新潟	11.9	191位	滋賀県	湖南・甲賀	9.3	291位	北海道	留萌	0.0

相対的医師少数区域

※ 周産期医療圏の上位1位～6位は、年間調整後分娩件数がゼロの医療圏で産科医師偏在指標が算出されない周産期医療圏を位置づけている。
また、年間調整後分娩件数があり、産科医師数がゼロの場合は、「0.0」と標記する。

小児科における医師偏在指標（三次医療圏）

資料4-5

暫定値

順位	都道府県	小児科医師 偏在指標	順位	都道府県	小児科医師 偏在指標	順位	都道府県	小児科医師 偏在指標
	全国	106.2	17位	福岡県	115.5	32位	奈良県	98.3
1位	鳥取県	169.0	18位	大分県	115.4	33位	神奈川県	97.6
2位	京都府	143.6	19位	愛媛県	114.9	<u>34位</u>	<u>福島県</u>	<u>96.4</u>
3位	東京都	139.3	20位	滋賀県	113.1	35位	広島県	95.8
4位	高知県	130.4	21位	長野県	112.2	<u>36位</u>	<u>岩手県</u>	<u>94.7</u>
5位	山梨県	129.4	22位	大阪府	110.6	<u>37位</u>	<u>青森県</u>	<u>93.5</u>
6位	富山県	128.3	23位	佐賀県	109.0	38位	沖縄県	93.4
7位	徳島県	126.8	24位	北海道	109.0	39位	三重県	92.3
8位	福井県	123.2	25位	山形県	108.1	40位	栃木県	91.6
9位	和歌山県	121.5	26位	熊本県	107.8	41位	愛知県	89.2
10位	香川県	120.5	27位	山口県	106.8	42位	宮崎県	86.8
<u>11位</u>	<u>秋田県</u>	<u>119.9</u>	28位	兵庫県	104.2	43位	鹿児島県	85.9
12位	岡山県	118.8	29位	新潟県	103.3	44位	千葉県	84.5
13位	長崎県	118.5	<u>30位</u>	<u>宮城県</u>	<u>99.2</u>	45位	静岡県	84.2
14位	群馬県	117.6	31位	岐阜県	98.8	46位	埼玉県	83.1
15位	島根県	117.4				47位	茨城県	82.1
16位	石川県	116.9						

相対的医師少数県

小児科における医師偏在指標（小児医療圏）

資料4-6

暫定値

順位	都道府県	小児医療圏	小児科医師 偏在指標	順位	都道府県	小児医療圏	小児科医師 偏在指標	順位	都道府県	小児医療圏	小児科医師 偏在指標
	全国		106.2	101位	島根県	松江	108.6	208位	和歌山県	橋本	86.5
1位	熊本県	芦北圏域	279.2	102位	兵庫県	但馬	108.5	209位	滋賀県	湖南・甲賀	86.1
2位	北海道	南檜山	239.2	103位	神奈川県	秦野・伊勢原	108.5	210位	神奈川県	川崎南部	85.8
3位	高知県	安芸	238.0	104位	北海道	上川北部	108.4	211位	沖縄県	中部	85.4
4位	鳥取県	西部	235.2	105位	山形県	置賜	108.4	212位	島根県	雲南	85.3
5位	北海道	北渡島檜山	196.4	106位	北海道	札幌	108.3	213位	福島県	会津・南会津	85.2
6位	静岡県	熱海	189.2	151位	山口県	岩国	98.4	214位	静岡県	西遠	85.1
7位	長野県	松本	185.5	152位	神奈川県	川崎北部	98.3	215位	長崎県	佐世保県北	84.8
8位	高知県	幡多	184.9	153位	山形県	庄内	98.3	303位	神奈川県	平塚・中郡	50.0
89位	大阪府	大阪市	114.4	154位	静岡県	駿豆	98.1	304位	福岡県	京築	49.6
90位	山形県	村山	114.2	155位	奈良県	奈良	98.1	305位	茨城県	鹿行南部地域	49.4
91位	北海道	留萌	113.7	179位	静岡県	志太榛原	93.5	306位	宮城県	大崎・栗原	49.1
92位	佐賀県	中部+東部	113.4	180位	山形県	最上	92.7	307位	埼玉県	中央	39.9
93位	奈良県	中和	113.1	181位	山口県	山口・防府、萩	92.7	308位	大分県	西部	39.6
94位	佐賀県	南部	113.1	205位	島根県	益田	86.7	309位	静岡県	御殿場	35.9
95位	東京都	多摩	111.6	206位	神奈川県	県央	86.7	310位	埼玉県	児玉	23.0
96位	京都府	中丹	111.4	207位	熊本県	球磨圏域	86.5	311位	岡山県	真庭	22.6

相対的医師少数区域